



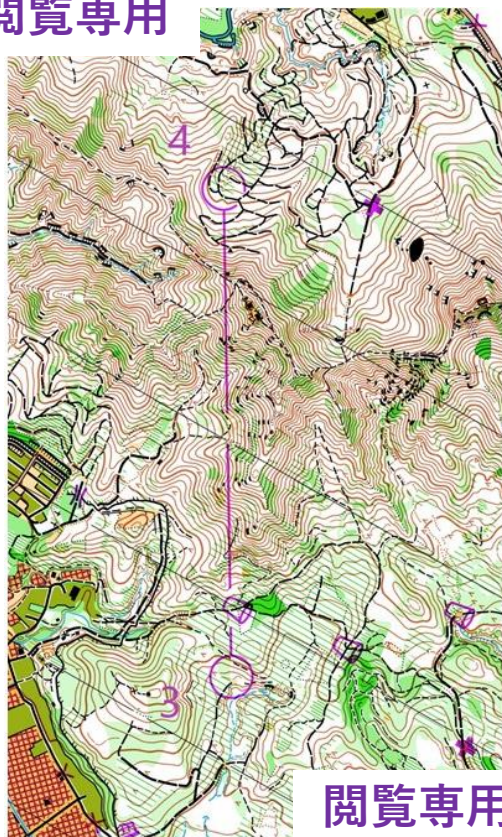
第六回 東京農工大大会
コース解説
(MEL/WEL)

コースプランナー
農工大OLC 39期・櫛会
早川徹彦

ここでは、MEL,WELクラスのロングレッグについて解説します。
なお、このページは大会当日13時半より公式HPにて公開する予定です。

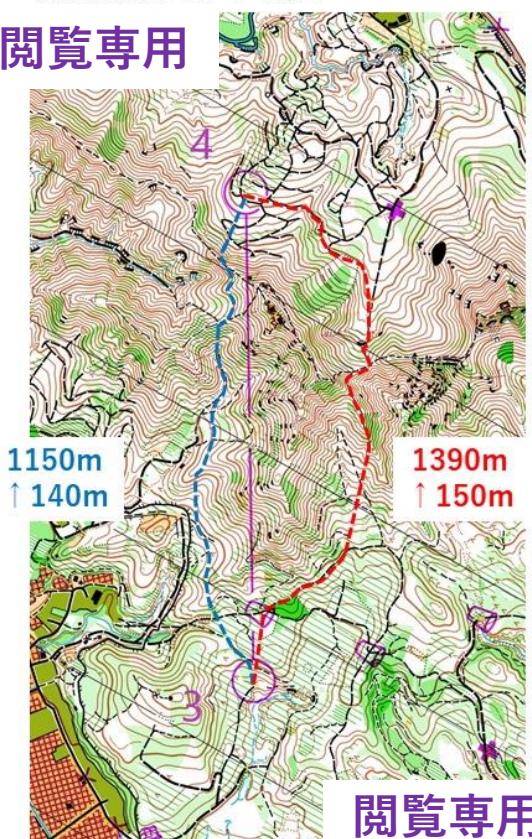
MEL 3-4 / WEL 3-4

閲覧専用



中央の大きな尾根線を横断する際に登高を抑えられる、左右二つのルートが考えられる。

閲覧専用



赤ルート

走行可能性が高く、比較的難易度の低いルートである。

青ルート

距離が短いが、大きな尾根線に乗るまでの走行可能性が低い。

斜面に負けて登ることを怠ると距離が伸びてしまう。

ちなみに、試走では左右ほとんど同タイムであった。

MEL 10-11 / WEL 8-9 (救護所から合流)



中央の毘沙門山から伸びる尾根線をどこで切るかで大きくルートが分かれる。

11番(9番)コントロール位置が比較的高いのがポイント。
巨岩を見るかどうかは、あなた次第だ。

赤ルート

いち早く尾根線を越え、比較的平らな東側エリアを中心に走るルート。登りの区間でスピードが落ちにくいルートである。

緑ルート

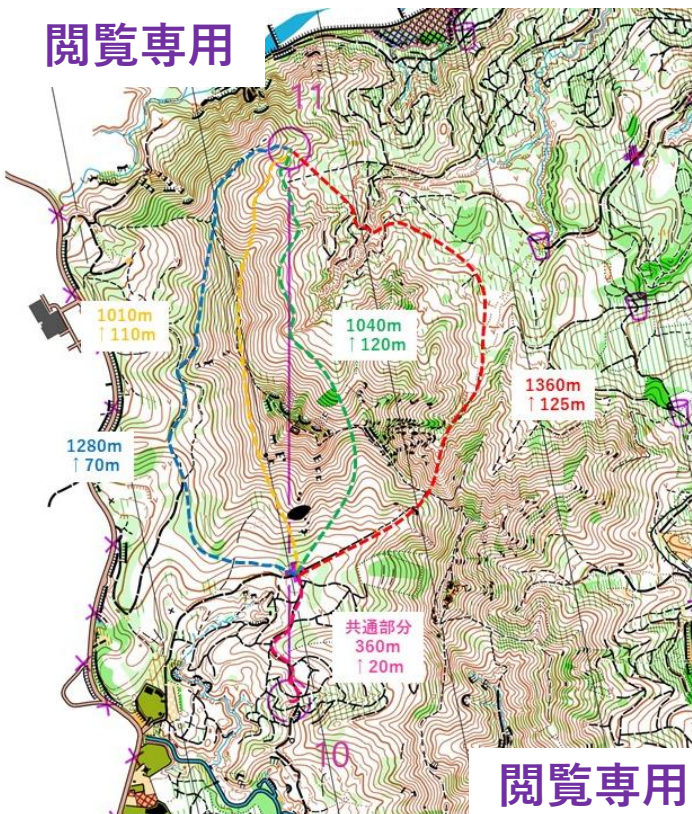
レック線からあまり離れず、鞍部を通れるルート。見えやすいルートだが、尾根線を越えてからの難易度が比較的高い。

黄ルート

直進ルートの中でも、上からアタックしやすく難易度の低いルートである。

青ルート

毘沙門山山頂から離れた地点で尾根線を越えることで登高を最も抑えられるルート。小径を使える区間が長く、走行可能度が高い。想定ベストルートである。



これら以外にも、アタックでほかの色に合流する複数ルートが考えられる。

試走では、青ルートの次には残り3ルートがほとんど同タイムであった。

MEL 13-14

閲覧専用



山塊から平らな裾野へ伸びる
レグである。
中央に大きな沢が2本入り組んで
いることから、大きく3通りの
ルートが考えられる。

赤ルート

距離、難易度、走行可能度に大きな
欠点がないバランスのとれたルート
である。一度目の給水を越えてから
も大きく右へ膨らむ必要があり、最
初の見た目以上に距離がかさむル
ートではある。

黄ルート

距離が最も短いルートである。乗り
換えは多いが小径を多く使える。救
護所直前の尾根線越えではほとんど
登高がなく、見た目以上に走れる
ルートである。

青ルート

赤ルートに比べて距離も登高も不利
であるが、終盤にさしかかるまでの
ほとんどの区間が難易度の非常に低
い道走りである。距離はかさむが、
集中力の欠如するレース終盤にお
いて安全なルートかもしれない。私
有地の北側あたりで道が途切れてハ
ッチになるため走行可能度が大きく
下がる。

閲覧専用



レグ単体の試走では、赤ルートが
最速であった。

いかがでしたでしょうか。

あくまで競技面でも未熟な私個人の意見をつづったもので恐縮ですが、このコース解説がロング競技、さらにはオリエンテーリングの面白さを一人でも多くの方にお伝えできれば幸いです。

最後になりますが、YMOE 山川様をはじめマッパーの皆様、そして試走会で協力してくれて、自分の作業にこもる早川を受け入れてくれた東京農工大学オリエンテーリング部の皆様に心から感謝します。

令和元年 9月29日

記念すべき21年ぶりの農工大大会の

地図販売 を

ぜひよろしくお願ひします！！

(会場にて13時半より受け付けております)